

## 研究所 顧問 中林正雄 主な業績

### ■ 原著論文（商業誌の原著も含む）、総説、二次抄録

井原亜里砂、荻野葵、佐藤美佳、磯崎宏美、竹田善治、山下隆博、中林正雄、安達知子：  
COVID-19pandemic 下における最適な妊娠中の糖代謝異常スクリーニングおよび管理法を目指して．糖尿病と妊娠．22（1）S.36-S.39，2022（原著論文）

### ■ 学会発表、講演

中林正雄：働く女性の健康講演会 働く女性が健やかに妊娠・出産をするために．女性労働協会創立70周年記念講演．東京、Web．2022年12月13日（講演）

竹田善治、安達知子、古屋仁美、山下隆博、中林正雄：産褥早期子宮出血時に原因不明のフィブリノゲン低値を認めた2症例．第32回日本産婦人科・新生児血液学会 学術集会．東京．2022年6月3日（一般演題：口演）

井原亜里砂、竹田善治、山下隆博、中林正雄、安達知子：高度肥満合併妊娠は妊娠中の糖代謝異常を併発し産後も高率に糖代謝異常を発症する．第38回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会．東京．2022年11月4日（一般演題：口演）

佐藤美佳、加藤美佳、井原亜里砂、竹田善治、山下隆博、中林正雄、安達知子：妊娠糖尿病はCOVID-19流行後に30%増加した－当院でのGDM有病率の変化－．第38回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会．東京．2022年11月5日（一般演題：口演）

### ■ その他

中林正雄：働く女性の周産期．東京都周産期医療ネットワークグループ事業区中央部ブロック2022年度周産期女性の健康にかかわる研修 第1回 周産期女性の健康を考える．東京、Web．2022年11月15日（講義）

## 研究所 所長 竹田省 主な業績

### ■学会・イベント開催

日本産婦人科医会 愛育研究所：母と子のメンタルヘルス研修会入門編. 1月28日  
愛育研究所：世界メンタルヘルスデー2023 つながるサポートプロジェクト. 10月10日 13:30～15:30 (webinar lecture)

### ■研究費

竹田 省 (代表) 齋藤知見：ボンディング障害に対する偏見とその低減策に関する研究. 三菱財団助成 2022-2023年 410万円

### ■講演

竹田 省：産科救急とメンタルヘルス. 中林病院助産師学院. 1月24日  
竹田 省：妊産婦のメンタルヘルス. 令和5年度助産師学生合同研修会. 5月12日 (webinar lecture)  
竹田 省：ハンズオンセミナー 講義1. 「傍頸管/ 頸管内ブロックの実際と有用性～ MVAや産婦人科小手術における疼痛管理～」. 第74回日本産科婦人科学会学術集会. 福岡. 8月6日  
竹田 省：周産期メンタルヘルスにおける産婦人科・精神科協力体制の充実に向けて. 第1回周産期メンタルヘルス勉強会. 東京都産科精神科協議会. 2022年9月29日

### ■原著論文

Nagasawa S, Ikeda K, Shintani D, Yang C, Takeda S, Hasegawa K, Horie K, Inoue S : Identification of a Novel Oncogenic Fusion Gene SPON1-TRIM29 in Clinical Ovarian Cancer That Promotes Cell and Tumor Growth and Enhances Chemoresistance in A2780 Cells. *Int J Mol Sci.* 2022 Jan 8; 23 (2) :689. doi: 10.3390/ijms23020689.

Seyama R, Makino S, Nojiri S, Takeda J, Suzuki T, Maruyama Y, Takeda S, Itakura A : Retrospective study of the recurrence risk of preterm birth in Japan. *J Matern Fetal Neonatal Med.* 2022 Feb; 3 (5 3) : 515-519. doi: 10.1080/14767058.2020.1727435.

Allotey J, Whittle R, Snell KIE, Smuk M, Townsend R, von Dadelszen P, Heazell AEP, Magee L, Smith GCS, Sandall J, Thilaganathan B, Zamora J, Riley RD, Khalil A, Thangaratinam S; IPPIC Collaborative Network : External validation of prognostic models to predict stillbirth using International Prediction of Pregnancy Complications (IPPIC) Network database: individual participant data meta-analysis. *Ultrasound Obstet Gynecol.* 2022 Feb; 59 (2) : 209-219. doi: 10.1002/uog.23757.

Endo M, Matsui K, Akaho R, Mitsui K, Yan Y, Imai Y, Ueda Y, Muto G, Deshpande GA, Terao Y, Takeda S, Saito M, Hayashi K, Nishimura K, Tanigawa T : Depressive and anxiety

- symptoms among Japanese cancer survivors: Japan cancer survivorship research project. *BMC Cancer*. 2022 Feb 2; 22 (1) : 134. doi: 10.1186/s12885-022-09215-x.
- Seyama R, Makino S, Takeda J, Takeda S, Itakura A : The retrospective study for effectiveness of cervical cerclage in preventing recurrent preterm birth. *Taiwan J Obstet Gynecol*. 2022 Jan; 61 (1) : 63-69. doi: 10.1016/j.tjog.2021.11.012.
- Hasegawa J, Nakao M, Ikeda T, Toyokawa S, Jojima E, Satoh S, Ichizuka K, Tamiya N, Nakai A, Fujimori K, Maeda T, Takeda S, Suzuki H, Ueda S, Iwashita M, Ikenoue T : Fetal heart rate evolution patterns in cerebral palsy associated with umbilical cord complications: a nationwide study. *BMC Pregnancy Childbirth*. 2022 Mar 3; 22 (1) : 177. doi: 10.1186/s12884-022-04508-2.
- Takeda J, Takeda S, Hikiji W : Recent Trends in Maternal and Postpartum Suicide and Countermeasures. *JMA J*. 2022 Apr 15; 5 (2) : 268-269. doi: 10.31662/jmaj.2021-0221.
- Ueda Y, Endo M, Kuroda K, Tomooka K, Imai Y, Ikemoto Y, Mitsui K, Sato S, Tanaka A, Sugiyama R, Nakagawa K, Sato Y, Kuribayashi Y, Kitade M, Itakura A, Takeda S, Tanigawa T : Risk factors for infertility treatment-associated harassment among working women: a Japan-Female Employment and Mental health in assisted reproductive technology (J-FEMA) study. *Int Arch Occup Environ Health*. 2022 May 13. doi: 10.1007/s00420-022-01872-6.
- Takeda S, Takeda J, Makino S, Nakayama T, Iriyama T, Nagamatsu T, Kondoh E : Characteristics and effects of a new Atom uterine hemostatic balloon for postpartum hemorrhage: initial experience with 17 cases. *HRP2021-012* April 28, 2022 DOI <https://doi.org/10.14390/jsshp>.
- Saito T, Takeda S, Kitamura T : Who considers termination of pregnancy? Approach based on the stress theory. *HRP2021-020* May 11, 2022 DOI <https://doi.org/10.14390/jsshp>.
- Kitamura T, Matsunaga A, Hada A, Ohashi Y, Takeda S : Development of a Scale for COVID-19 Stigma and Its Psychometric Properties: A Study among Pregnant Japanese Women. *Behav. Sci*. 2022, 12 (8) , 257; <https://doi.org/10.3390/bs12080257>
- Yoh K, Ikeda K, Nagai S, Horie K, Takeda S, Inoue S : Constitutive activation of estrogen receptor  $\alpha$  signaling in muscle prolongs exercise endurance in mice. *Biochem Biophys Res Commun*. 2022 Aug 26; 628:11-17. doi: 10.1016/j.bbrc.2022.08.064.
- Suzuki T, Osaka H, Miyake N, Fujita A, Uchiyama Y, Seyama R, Koshimizu E, Miyatake S, Mizuguchi T, Takeda S, Matsumoto N : Distal 2q duplication in a patient with intellectual disability. *Human Genome Variation*. 2022, 9 (39) , <https://www.researchgate.net/publication/365293916>.
- Sheikh J, Allotey J, Kew T, Fernández-Félix B M, Zamora J, Khalil A, Thangaratinam S, IPPIC Collaborative Network : Effects of race and ethnicity on perinatal outcomes in high-

income and upper-middle-income countries: an individual participant data meta-analysis of 2 198 655 pregnancies. December 2022 The Lancet 400 (10368) : 2049-2062. DOI: 10.1016/S0140-6736 (22) 01191-6

## ■総説

竹田 省：産褥婦の自死の現状と対策. 周産期医学. 2022 ; 52 : 190-194

羽田彩子、山田露子、竹田 省、北村俊則：感染症蔓延下での妊婦の心理的メカニズムは適応的か？ - COVID-19 感染に対する脅威をめぐって. 周産期医学. 2022 ; 52 : 825-828

## ■著 書

恩賜財団母子愛育会愛育研究所（編）、竹田 省（編集代表）：日本子ども資料年鑑 2021. KTC 中央出版. 2021 年 2 月 12 日

竹田 省（担当編集）、平松祐司、万代昌紀、小林裕明（編集委員）：OGS NOW basic 9 アドバンス帝王切開術と関連手術. メジカルビュー社. 2022 年 2 月 10 日

櫻木範明（編集担当）、平松祐司、小西郁生、竹田 省（編集委員）：OGS NOW 腹腔鏡・子宮鏡手術（中国語版）. 迂宇科学技術出版. 2022 年 4 月 1 日

平松祐司（担当編集）、竹田 省、万代昌紀、小林裕明（編集委員）：OGS NOW basic 10 骨盤臓器脱 完全マスター. メジカルビュー社. 2022 年 6 月 10 日

小林裕明（担当編集）、平松祐司、竹田 省、万代昌紀（編集委員）：OGS NOW basic 11 安全に行うために 広汎子宮全摘術と広汎子宮頸部摘出術. メジカルビュー社. 2022 年 8 月 10 日

万代昌紀（担当編集）、平松祐司、竹田 省、小林裕明（編集委員）：OGS NOW basic 12 明日からできる卵巣がん手術. メジカルビュー社. 2022 年 11 月 1 日

竹田 省（編）：Patient centered care を意識した産婦人科外来診療・小手術の局所浸潤麻酔・伝達麻酔. メジカルビュー社. 2022 年 8 月 1 日

黒田恵司、竹田 省、田中 温（編）：改訂第 2 版 データから考える 不妊症・不育症治療 希望に応える専門外来の診療指針. メジカルビュー社. 2022 年 8 月 10 日

竹田 省、牧野真太郎、竹田 純（編）：分娩の生理・病態に基づいた頸管熟化と分娩誘発法. メジカルビュー社. 2022 年 10 月 1 日

竹田 省：アドバンス帝王切開術：概説 OGS NOW basic 9 アドバンス帝王切開術と関連手術. 10-19. メジカルビュー社. 2022 年 2 月 10 日：

竹田 省：難治性子宮筋層炎・筋層縫合不全 OGS NOW basic 9 アドバンス帝王切開術と関連手術. 122-129. メジカルビュー社. 2022 年 2 月 10 日

寺尾泰久、竹田 省：卵巣癌の大網切除術 OGS NOW basic 12 明日からできる卵巣がん手術. 106-115. メジカルビュー社. 2022 年 11 月 1 日

研究所 周産期医療研究部 部長 百枝幹雄 主な業績

■ 原著論文（商業誌の原著も含む）、総説、二次抄録

Sako Y, Hirata T, Momoeda M : Hysteroscopy-guided laparoscopic resection of a cesarean scar defect in 5 steps: the usefulness of nonperfusion hysteroscopy. Fertil Steril. 118 (6) : 1196-1198, 2022 (原著論文)

Harada T, Taniguchi F, Kitajima M, Kitawaki J, Koga K, Momoeda M, Mori T, Murakami T, Narahara H, Osuga Y, Yamaguchi K : Clinical practice guidelines for endometriosis in Japan (The 3rd edition) . J Obstet Gynaecol Res. 48 (12) : 2993-3044, 2022 (原著論文)

■ 著 書（商業誌含む）

百枝幹雄：【産婦人科における素朴な疑問と解説（1）婦人科編】女性 ヒトに月経があるのはなぜ？. 産科と婦人科. 診断と治療社. 89 (10) : 1033-1038, 2022

■ 学会発表、講演

百枝幹雄：子宮内膜症・子宮筋腫の新しい治療指針. 奈良県産婦人科医会 第110回産婦人科臨床カンファレンス. Web. 2022年5月26日（講演）

百枝幹雄：過多月経・貧血症状を呈する鉄剤服用患者のQOL及び労働生産性に悪心・嘔吐が及ぼす影響. 第37回日本女性医学学会学術集会. 米子. 2022年11月12日（一般演題：口演）

■ その他

百枝幹雄：女性活躍社会の健康課題と対策. リンケージ GSK セミナー. 東京. 2022年6月9日（Web）

百枝幹雄：月経困難症治療アップデート. 中央区講演会（持田製薬株式会社）. 東京. 2022年6月15日（講演）

百枝幹雄：痛みの基礎から考える月経困難症の治療戦略. ジェミーナ配合錠オンライン講演会（ノーベルファーマ株式会社、あすか製薬株式会社）. 東京、Web. 2022年7月7日（講演）

百枝幹雄：女性活躍社会の健康課題と対策. 日経BP 総研研究会. 東京. 2022年7月19日（講演）

百枝幹雄：女性活躍社会の健康課題と対策. リンケージ 帝人セミナー. Web. 2022年8月26日（Web）

百枝幹雄：性ホルモンのトリセツ「我慢しないで！生理の悩み 鍵は性ホルモンのコントロールにあり」（取材/協力）. NHK あしたが変わるトリセツショー. 2022年10月20

日（テレビ、Web 配信）

百枝幹雄：Expert Interview 患者・医師アンケート調査から読み解く鉄欠乏性貧血の現状と治療課題（インタビュー）. 鳥居薬品株式会社提供冊子. 2022年10月（冊子）

百枝幹雄：妊娠期における運動の有効性と安全性. 東京都周産期医療ネットワークグループ事業区中央部ブロック 2022年度周産期女性の健康にかかわる研修 第1回 周産期女性の健康を考える. 東京、Web. 2022年11月15日（講義）

百枝幹雄：ウィメンズヘルスにおける漢方. 東京大学産婦人科学教室同窓会 産科婦人科 meets 漢方～産科婦人科領域で漢方を活かすために～. 東京. 2022年11月28日（講演）

## 研究所 周産期医療研究部 産科担当部 部長 山下隆博 主な業績

### ■ 原著論文（商業誌の原著も含む）、総説、二次抄録

高橋華子、山下隆博、布施由紀子、木村剛、三村暢子、鮫島大輝、篠原智子、古屋仁美、市瀬茉里、川名有紀子、竹田善治、安達知子：妊娠 32 週に子宮破裂を発症した既往帝王切開妊娠の 1 例. 東京産科婦人科学会会誌. 71 (2) : 234-238, 2022 (原著論文)

林聡実、山下隆博、竹田善治、三村暢子、上田美里、清水信義、布施由紀子、篠原智子、古屋仁美、赤股宜子、川名有紀子、安達知子：子宮破裂が麻酔分娩中に発生し分娩後に診断、子宮摘出に至った 1 例. 東京産科婦人科学会会誌. 71 (2) : 326-331, 2022 (原著論文)

井原亜里砂、荻野葵、佐藤美佳、磯崎宏美、竹田善治、山下隆博、中林正雄、安達知子：COVID-19 pandemic 下における最適な妊娠中の糖代謝異常スクリーニングおよび管理法を目指して. 糖尿病と妊娠. 22 (1) S.36-S.39, 2022 (原著論文)

### ■ 著書（商業誌含む）

山下隆博：【感染症豆知識】妊娠と腸内細菌. 都医ニュース. 東京都医師会. 671 : 5, 2022

山下隆博：【生殖補助医療の進歩と周産期医療】産科の立場から 卵子提供妊娠の周産期管理. 編集：『周産期医学』編集委員. 周産期医学. 東京医学社. 52 (3) : 395-397, 2022

### ■ 学会発表、講演

中山摂子、鶴賀香弥、西嶋優子、森住佑子、山下隆博：当院における NIPT 遺伝カウンセリングの現状と工夫. 第 8 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会. 新潟. 2022 年 10 月 29 日 (一般演題：ポスター)

竹田善治、安達知子、古屋仁美、山下隆博、中林正雄：産褥早期子宮出血時に原因不明のフィブリノゲン低値を認めた 2 症例. 第 32 回日本産婦人科・新生児血液学会 学術集会. 東京. 2022 年 6 月 3 日 (一般演題：口演)

鶴賀香弥、馬場一憲、西嶋優子、森住佑子、中山敏男、瀬山貴博、松本順子、竹田善治、山下隆博：妊娠 11 週までに診断し得た body stalk anomaly の 2 症例. 日本超音波医学会 第 34 回関東甲信越地方会学術集会. 東京. 2022 年 9 月 25 日 (一般演題：口演)

鶴賀香弥、馬場一憲、西嶋優子、森住佑子、中山敏男、瀬山貴博、松本順子、竹田善治、山下隆博：NIPT 検査結果「陰性」のピットフォールと当院の取り組みについて. 日本超音波医学会 第 34 回関東甲信越地方会学術集会. 東京. 2022 年 9 月 25 日 (一般演題：口演)

- 鍋島珠恵、市瀬茉里、山下隆博、清水信義、吉竹瑤子、吉川美登利、篠原智子、井上恵莉、古屋仁美、布施由紀子、赤股宜子、川名有紀子、竹田善治、安達知子：プロスタグランジン E2 腔用剤の使用最適化を目指した検討。第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会。横浜。2022 年 7 月 10 日（一般演題：口演）
- 対馬伶奈、山下隆博、清水信義、吉川美登利、篠原智子、井上恵莉、布施由紀子、古屋仁美、赤股宜子、川名有紀子、竹田善治、百枝幹雄：妊娠中期に COVID-19 陽性となり自宅療養期間後に診断した母児間輸血症候群の 1 例。第 403 回東京産科婦人科学会例会。東京。2022 年 12 月 10 日（一般演題：口演）
- 井原亜里砂、竹田善治、山下隆博、中林正雄、安達知子：高度肥満合併妊娠は妊娠中の糖代謝異常を併発し産後も高率に糖代謝異常を発症する。第 38 回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会。東京。2022 年 11 月 4 日（一般演題：口演）
- 佐藤美佳、加藤美佳、井原亜里砂、竹田善治、山下隆博、中林正雄、安達知子：妊娠糖尿病は COVID-19 流行後に 30%増加した一当院での GDM 有病率の変化。第 38 回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会。東京。2022 年 11 月 5 日（一般演題：口演）
- 佐藤美佳、加藤美佳、井原亜里砂、竹田善治、山下隆博、中林正雄、安達知子：妊娠糖尿病は COVID-19 流行後に 30%増加した一当院での GDM 有病率の変化。第 38 回日本糖尿病妊娠学会年次学術集会。日本。2022 年 11 月 5 日（一般演題 口演発表）

#### ■ その他

- 山下隆博：出生前診断。（福）恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院 令和 4 年度 社会福祉施設職員研修会 I。Web。2022 年 10 月 28 日（講義）
- 山下隆博：出生前診断。（福）恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院 令和 4 年度 社会福祉施設職員研修会 II。Web。2022 年 12 月 2 日（講義）



研究所 小児及び母性保健研究部 部長 渋谷紀子 主な業績

■ 原著論文、総説、二次抄録

渋谷紀子：2 週間健診. チャイルドヘルス, 25 (3) : 196-199, 2022 (総説)

■ 学会発表、講演

渋谷紀子、菅原憲子、近藤恵里、川崎道子、浦田純、佐藤紀子：液体ミルク人工栄養児における身体的発育に関する検討. 日本小児科学会. 日本, 福島. 2022 年 4 月 17 日 (ポスター)

渋谷紀子、菅原憲子：鶏卵の摂取が既感作乳児に与える影響についての検討. 日本アレルギー学会. 日本, 東京. 2022 年 10 月 9 日 (ミニシンポジウム)

■ その他

渋谷紀子 (監修) : 【家庭の医学】夏にかかりやすい子どもの病気. 講談社 Web メディア 『コクリコ』, WEB. 2022 年 6 ~ 7 月

**研究所 小児及び母性保健研究部 新生児・小児担当 部長 伊藤康 主な業績**

■原著論文、総説、二次抄録

伊藤康：【近未来の小児科のあり方・これからの展望】地域医療 地域におけるチーム医療。

小児科. 2022 ; 63 (13) : 1446-1454 (総説)

鈴木悠貴、伊藤康\*、河野香、溝口枝里子、石井のぞみ、相原由香：「子育て相談外来」を受診した子どもの家庭における養育能力の問題点と小児科医の役割についての検討. 小児保健研究. 2022 ; 81 (4) : 342-350 (症例報告)

宮本卓哉、伊藤康\*、河野香、溝口枝里子、石井のぞみ、浦島崇、千葉謙太郎、藍原康雄：頭部 MRI 検査を契機に破損したペン型自己注射針の頭皮内埋入が発見された幼児例. 小児科臨床. 2022 ; 75 (2) : 281-285 (症例報告)

■学会発表、講演

伊藤康、中務秀嗣、永田智、小国弘量：Glut1 欠損証において認識が十分でない非てんかん性発作についての研究. 第 64 回日本小児神経学会学術集会. 日本, 高崎. 2022 年 6 月 3 日 (口演)

Sachie Nakamura, Yasushi Ito, Hiroko Hayakawa, Shiho Aoki, Takanori Yamagata, Hitoshi Osaka : Establishment of a flow cytometry screening method for glucose transporter 1 deficiency syndrome (Glut1DS). 第 64 回日本小児神経学会学術集会. 日本, 高崎. 2022 年 6 月 3 日 (シンポジウム)

伊藤康、溝口枝里子、相原由香、澁谷紀子：受診理由に対する診断および対処において highly sensitive child 気質を背景として考慮すべきと考えた症例の検討. 第 69 回日本小児保健協会学術集会. 日本, 津. 2022 年 6 月 25 日 (口演)

■その他

伊藤康：【JaSMIn 通信特別記事 No.67】脳性麻痺と診断されているかもしれない治療可能な先天代謝異常症. [https://www.jasmin-mcбанк.com/jasminmcバンク/wp-content/uploads/2022/09/JaSMIn\\_通信特別記事\\_No.67\\_\(伊藤康先生\)\\_-1.pdf](https://www.jasmin-mcбанк.com/jasminmcбанк/wp-content/uploads/2022/09/JaSMIn_通信特別記事_No.67_(伊藤康先生)_-1.pdf). Web. 2022 年 9 月 5 日 (Web 記事)

伊藤康：一般演題 (口演) ; 代謝性疾患 2. 第 64 回日本小児神経学会学術集会. 高崎. 2022 年 6 月 2 日 (座長)

伊藤康：“気になる子ども”と母親のメンタルヘルス. MCMC 母と子のメンタルヘルス研修会 2021. Web. 2022 年 1 月 22 日 (研修会)

伊藤康：発達障害児とその保護者への支援～早期発見と地域支援のあり方～. 子育てあんしんプロジェクト関係機関連絡会 2021. 港区. 2022 年 2 月 9 日 (研修会)

伊藤康：夏に注意したい子どもの感染症と健康リスク. 令和 4 年度 みなと保健所 夏場の感染症講習会. 港区. 2022 年 6 月 27 日 (講習会)

伊藤康：治療法の存在する小児難病の早期発見に役立つ電子母子手帳のアプリ開発. 令和4年度厚生労働科学研究費補助金「新生児スクリーニング対象疾患等の先天代謝異常症における生涯にわたる診療体制の整備に関する研究」(中村班) 令和4年度 第1回 班会議. Web. 2022年7月2日 (厚労科研研究班班会議)

伊藤康：我が子に育てにくさを感じるのは“我が子を想う愛情”です. 世界メンタルヘルスデー2022 つながるサポートプロジェクト. Web. 2022年10月10日 (シンポジウム)

伊藤康：育てにくさを感じる子どもとその保護者への支援. 令和5年度 社会福祉施設職員研修会 I. 愛育病院. 2022年10月28日 (研修会)

伊藤康：育てにくさを感じる子どもとその保護者への支援. 令和5年度 社会福祉施設職員研修会 II. 愛育病院. 2022年12月2日 (研修会)

伊藤康：遺伝性代謝性神経疾患であることを反映させた診断基準の改訂と重症度分類の適合性確認. 令和4年度 厚生労働科学研究費補助金「新生児スクリーニング対象疾患等の先天代謝異常症における生涯にわたる診療体制の整備に関する研究」(中村班) 令和4年度 第2回 班会議. Web. 2022年12月4日 (厚労科研研究班班会議)

伊藤康：生きづらさ、育てにくさを抱える親と子の支援「育てにくさを感じる子どもたちの中に埋もれている Highly Sensitive Child」. 東京都周産期医療ネットワークグループ事業区中央部ブロック 令和4年度「周産期女性の健康にかかわる研修」. 愛育病院. 2022年12月20日 (研修会)

**研究所 児童福祉・精神保健研究部 部長 齊藤万比古 主な業績**

■原著論文（商業誌の原著も含む）、総説、二次抄録

齊藤万比古：現在の思春期心性を考える－いま学校に伝えたいこと－. 思春期青年期精神医学. 2022 ; 32 (1) : 62-71 (総説)

齊藤万比古：児童精神科臨床の現場で通院精神療法をどう捉えるか. 臨床精神医学. 2022 ; 51 (12) : 1391-1396 (総説)

細金奈奈、小平雅基、齊藤万比古：児童精神科臨床における養育支援－総合母子保健センター愛育クリニックにおける試み－. 精神神経学雑誌. 2022 ; 124 (1) : 28-35 (総説)

■著書

齊藤万比古：子どもの注意欠如・多動症（ADHD）の診断・治療ガイドライン, 1 章-2 子どもの発達と ADHD, 1 章-3 ADHD の疾病構造, 2 章-1-③ 子どもの ADHD 臨床面接フォームを用いた半構造化面接, 5 章-1 第 5 版ガイドラインへの改訂をめぐる検討－執筆者アンケートを通じて－, 資料 I 診断・評価編 4 子どもの ADHD 臨床面接フォーム, 資料 II 治療・支援編 3 親用パンフレット「ADHD の子どもを支え育むために」. 齊藤万比古、飯田順三（編）. 注意欠如・多動症－ADHD－の診断・治療ガイドライン 第 5 版. じほう. 2022 : (1) (- 43) , 8-14, 15-19, 45-58, 410-427, 435-459, 485-494

齊藤万比古：児童精神科入院治療の特異性およびその意義と課題. 齊藤万比古、岩垂喜貴（編）. 児童精神科入院治療の実際 子どもの心を守り・癒し・育むために. 金剛出版. 2022 : 11-26

齊藤万比古：メンタライジング理論の児童精神科臨床へのインパクト. 西村馨（編）. 実践・子どもと親へのメンタライジング臨床. 岩崎学術出版. 2022 : 175-182

■学会発表、講演

齊藤万比古：子どもの心の発達を考える－いくつかの発達論を総合的にとらえる－. 第 63 回日本児童青年精神医学会総会. 日本, 松本市. 2022 年 11 月 11 日 (教育講演)

## 研究所 研究企画部 次長 齋藤知見 主な業績

### ■原著論文、総説、二次抄録

Tomomi Saito, Satoru Takeda, Toshinori Kitamura : Who considers the termination of pregnancy? Approach from stress theory. *Hypertension Research in Pregnancy*. 2022 ; 10 (3) : 80-87

Mizuki Takegata<sup>1</sup>, Yuriko Usui, Satoshi Sohda, Satoru Takeda, Jun Takeda, Tomomi Saito, Yasuyo Kasai, Hideki Watanabe, Megumi Haruna, Yukiko Ohashi, Toshinori Kitamura : Tokophobia: Case reports and narratives of ten Japanese women. *Healthcare* (under submission)

### ■著書

齋藤知見：古典から学ぶ（アンナ・フロイトと防衛機制）。北村俊則/ こころの診療科きたむら 病院スタッフ。ボンディング障害支援ガイドブックー周産期メンタルヘルス援助者のために。日本評論社。2022 年 3 月

齋藤知見：分娩恐怖症とは。竹田省。patient centered care を意識した産婦人科外来診療・小手術の局所浸潤麻酔・伝達麻酔。メジカルビュー社。2022 年 8 月

齋藤知見：ボンディング障害。ペリネイタルケア。メディカ出版。2022 年夏

齋藤知見：メンタルヘルスケア「妊娠期全般」。東京産婦人科医会会誌 55 号。2022 年

齋藤知見：正常な産褥期の経過 褥婦と家族の心理・社会的変化。母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護。メヂカルフレンド社。2022 年 11 月

### ■学会発表、講演

齋藤知見：周産期 自殺の危機介入。母と子のメンタルヘルス研修会。2022 年 1 月 22 日

齋藤知見：周産期 自殺の危機介入。周産期ネットワーク事業 メンタルヘルス研修会。2022 年 2 月 14 日

齋藤知見：メンタルヘルスケアが必要な妊産婦を支えるための地域連携。助産師会ワークショップ。2022 年 5 月 28 日

齋藤知見：メンタルヘルスケア 周産期スタッフの私たちができること。愛育病院 看護研究会。2022 年 6 月 14 日

齋藤知見：メンタルヘルスケア 周産期スタッフの私たちができること。第 6 回中林病院助産師学院同窓会。2022 年 7 月 2 日

齋藤知見：合併症妊娠総合 1。第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会。2022 年 7 月 9 日（座長）

齋藤知見：Edinburgh Postnatal Depression Scale (EPDS) の因子構造と測定不変性の検討ー妊娠後期から産後 1 か月までー。第 18 回 周産期メンタルヘルス学会。2022 年 10 月 23 日

齋藤知見：周産期メンタルヘルスにおける最近の話題. 健やか親子 21 全国大会 母子保健  
関係者研究集会. 2022 年 10 月 27 日

■その他

齋藤知見：みなと区産科精神科協議会. 事例検討ほか. web. 2022 年 9 月 29 日

齋藤知見：女性生殖器と疾患. 都立大助産学講義. web. 2022 年 11 月 16 日